



「くればる」通信 KURE Validation Letter

第7号 (月刊)
No.7 (Monthly)

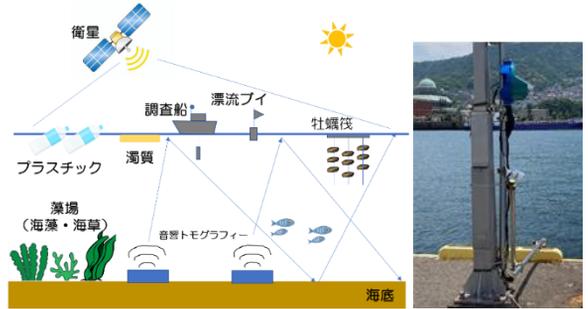
広島大学 海洋リモートセンシング技術センター 準備室 (非公式)

2024年12月31日
31 Dec. 2024

くればる通信について

広島大学は2024年1月31日、海洋・海事に関する研究や教育、社会連携の機能を持つセンターを呉市内に整備する構想を明らかにしました(2024年2月1日、中国新聞朝刊)。具体的には「海洋・海事未来センター(仮称)」を設立するとともに、その中に「海洋リモートセンシング(RS)技術センター」機能を持たせる計画です。同海洋RS技術センターは、世界で唯一の海洋RSの検証(Validation)拠点にしたい考えで、愛称を「くればる(KURE Validation)」(仮称)とし、本通信はその広報活動の一環として呉湾で観測する実測・衛星水温について、毎月末に報告するものです。

海洋リモートセンシングのイメージ(左)と
呉湾に設置された衛星検証用水温ロガー写真(右)

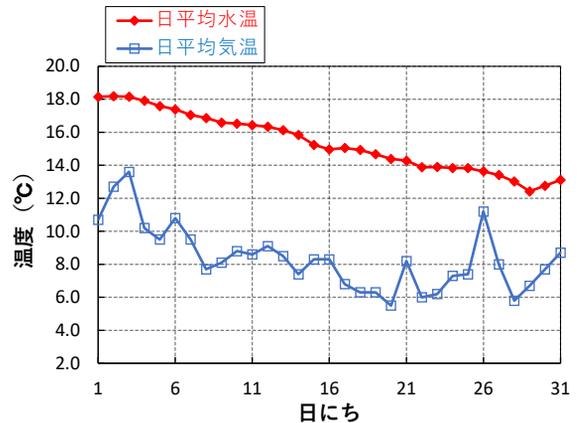


URL : <https://umilog.cloud/>
アカウント・パスワード : hirosshima-university



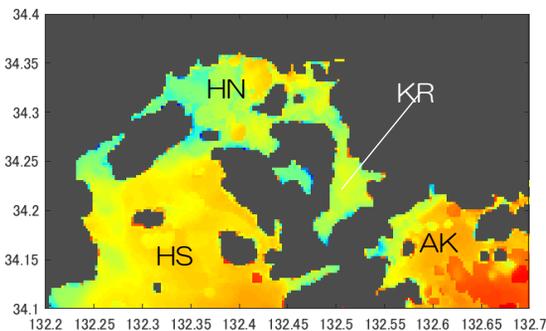
2024年12月の実測水温

右図は12月1日~31日の日平均水温の時間変化を示した図です。12月はおおよそ12~18℃での範囲で変動していました。一方、気象庁が公表している日平均気温は、右図の青線のように、おおよそ5~14℃の範囲で変動しており、気温は水温に比べて常に約5℃以上低い値をとっていました。なお、気温と水温の最大差は8℃程度ありました。



呉港の水温計が計測した2024年12月の
日平均表面水温と日平均気温の変化図

2024年12月の平均衛星水温



左図は12月1日~31日の衛星GCOM-C「愛称：しきさい」(250m解像度、2-3日周期)が取得したSST画像から計算された12月の月平均海表面水温(SST)の図です。カラーバーは約10℃~20℃に設定しています。これより、平均的なSSTとして、呉沖は約15℃、広島湾北部水域(HN)は約15℃、広島湾南部水域(HS)は約16℃、安芸灘(AK)は約17℃でした。安芸灘は10,11月同様、6-9月の分布傾向とは異なり、他の水域よりも水温が同程度、またはやや高い傾向がありました。